

## 2 . 流域及び河川の自然環境

### 2 . 1 流域の自然環境

#### 北アルプスと黒部峡谷が造りだす自然環境

黒部川は、上流域の大部分が中部山岳国立公園に指定されており、流域の約 99%が山地帯である。標高 3,000m 級の山々が連なる山岳地帯から標高 0m の海岸部まで一気に流れ下る黒部川は、途中に、険しい岸壁と清流が織りなす景観美「黒部峡谷」を造りあげた。さらに、下流域では、扇頂部の愛本を要に、黒部川が運んだ土砂が堆積してできた美しい扇状地形が広がっている。

#### ( 1 ) 景勝地「黒部峡谷」を擁する上流域

上流域は、白竜峡、十字峡、S字峡、猿飛峡、奥鐘山など、国の特別名勝・特別天然記念物が点在しており、見事な渓谷美を誇っている。

上流域の植生は、針葉樹と広葉樹が混交する独特の植生であり、黒部峡谷の特徴の一つとなっている。

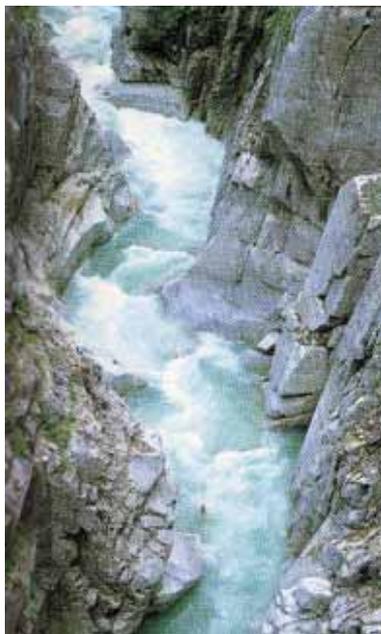
動物では、国の特別天然記念物であるニホンカモシカやライチョウの他にニホンザル・ツキノワグマ等が生息しているが、上流域における魚類はイワナのみとなっている。



黒部川源流 鷲羽岳



ライチョウ



黒部峡谷 S字峡



ニホンカモシカ

## (2) 黒部峡谷の玄関口、温泉郷を擁する中流域

峡谷が徐々に開けてくる中流域は、黒部峡谷の玄関口にあたるとともに、富山県を代表する温泉郷であり、多くの観光客が訪れる「宇奈月温泉」がある。

この付近の黒部川は、瀬や淵が連続する山付き区間となっており、その斜面には落葉広葉樹やスギなどが植生し、魚類は、ヤマメ、ウグイ、イワナが生息するほか、両生類はカジカガエルやナガレタゴガエル、ハコネサンショウウオなどが生息している。



宇奈月温泉



ナガレタゴガエル

## (3) 美しい臨海性扇状地を擁する下流域

下流域は、愛本を扇頂部とする海に張り出た美しい扇状地を形成しており、扇状地内は、みのり豊かな田園風景が続いている。

また、扇端部には湧水群があり、「全国名水百選」にも選ばれている。

植生では、扇頂部の愛本周辺ではウラジロガシ、カワヤナギ、アケビといった丘陵地や山地の植物が生息し、扇端部ではガマ、ツルヨシなどの水辺の植物が見られ、砂地ではハマヒルガオなどの海辺の植物が、それぞれ生息している。黒部川河川敷内には荒地でも生息できるアキグミが見られる。

魚類では、ウグイ、アユ、カジカの他、清流にしか生息しないトミヨも見られる。



黒部川扇状地



トミヨ



アキグミ

## 2.2 河川およびその周辺の自然環境

### (1) 河道の区分

黒部川を上流域、中流域、下流域に分けて、各区分の特性について示す。  
区分については次のとおりである。

#### 河道区分

- ・上流域：黒薙川合流点～水源
- ・中流域：愛本(13.4k)～黒薙川合流点
- ・下流域：河口～愛本(13.4k)

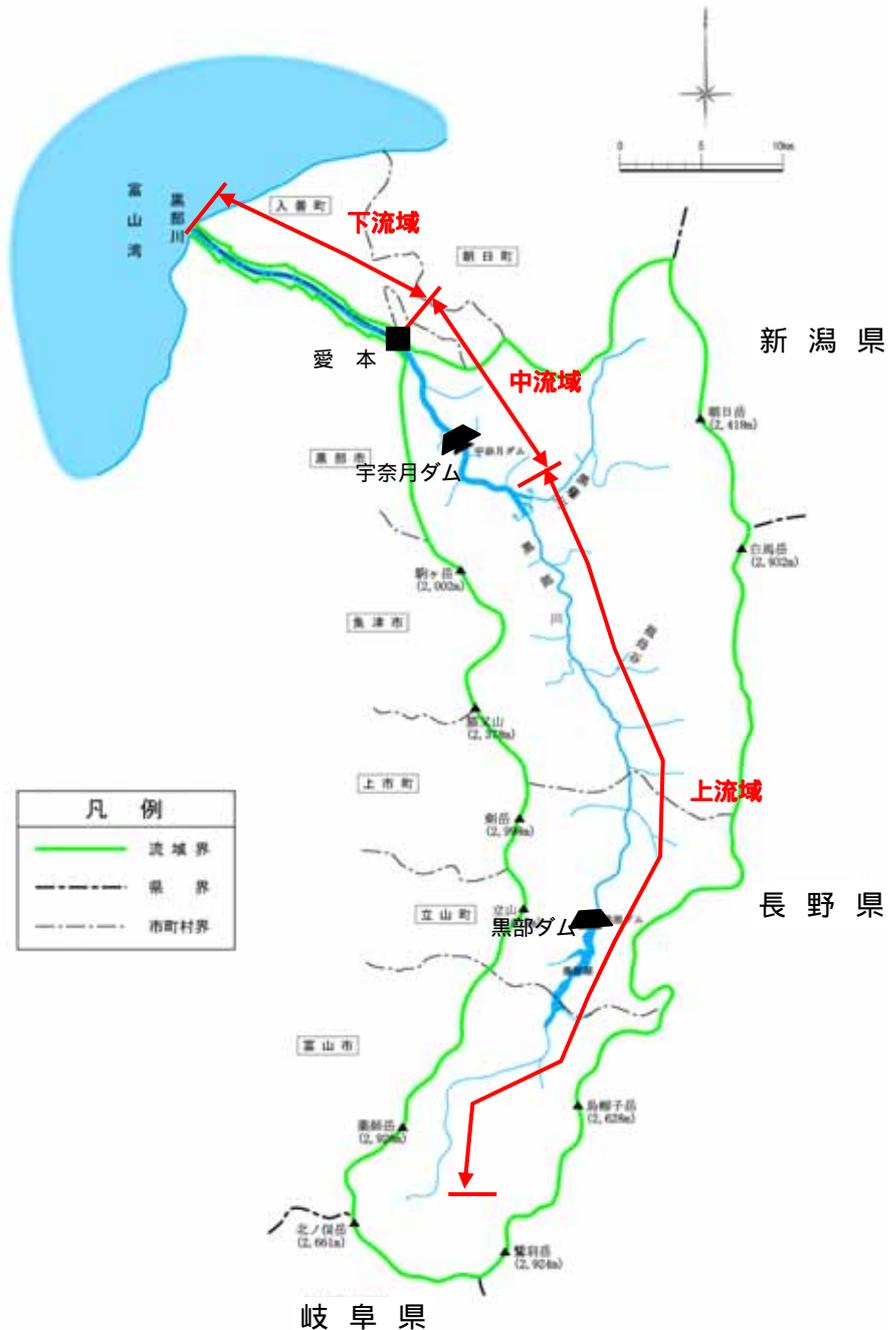


図 2-1 黒部川流域河道区分

## 1) 上流域(峡谷部)の環境

### 峡谷地形の上流域

上流域の黒部川の河床勾配は1/5 ~ 1/42であり、荒廃地でもあること等から、流出土砂も多いため、河床には巨石や礫質の土砂が多く堆積している。また、水源からの標高差が大きいことから、植生は高山植物のニッコウキスゲや亜高山帯植生のトウヒ、チョウセンゴヨウ、山地帯植生のブナ、クロベ等幅広く分布し、所々で暖温帯性のツガ林が見られる。

黒部川の渓谷部に生息している魚類はイワナだけであり、鳥類はオオルリやキセキレイ、アカゲラなどが生息している。立山連峰の山岳地帯には、国の天然記念物であるライチョウやイヌワシも生息している。

哺乳類では、国の特別天然記念物であるカモシカをはじめ、ニホンザル、ツキノワグマなどが生息している。

表 2-1 上流域に見られる代表的な動植物

植 物	ニッコウキスゲ、カラマツ、トウヒ、 チョウセンゴヨウ、クロベ、ブナ、 ケヤキ、ツガ、
動 物	ニホンカモシカ、ニホンザル、 ツキノワグマ
鳥 類	ライチョウ、イヌワシ、オオルリ、 アカゲラ、チョウゲンボウ
魚 類	イワナ



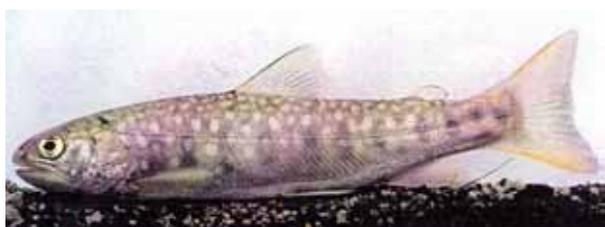
トウヒ群落



ツガ林



ニホンカモシカ



イワナ



オオルリ

## 2) 中流域の環境(山間部)

### 温泉郷と黒部峡谷の玄関口を流れる中流域

中流域は、その殆どが山付き区間となっており、河道は単状で瀬・淵が連続し、山付きの斜面には、落葉広葉樹やスギなどの植生がみられる。魚類は、カジカ、ウグイ、イワナが生息しており、礫底河床が形成されていることから産卵場にも適している。昆虫類は、山間の樹林に囲まれた溪流に生息するムカシトンボ、両生類では川周辺の湿地や河床に生息するカジカガエルやナガレタゴガエル、ハコネサンショウウオなどが生息している。中流部から扇頂部にかけての宇奈月温泉街や愛本周辺では、高山性のイワツバメが多く見られる。

表 2-2 中流域に見られる代表的な動植物

植 物	ウラジログシ、アケビ、ケヤキ カワヤナギ、ヒメアオキ、コナラ
動 物	ニホンザル、
鳥 類	イワツバメ、センダイムイクイ ホトトギス、カッコウ、キレンジャク
魚 類	ウグイ、イワナ、ヤマメ
陸上昆虫	ムカシトンボ
両生類	カジカガエル、ナガレタゴガエル ハコネサンショウウオ



山付き区間



イワツバメ



ウラジログシ



ハコネサンショウウオ



カジカ

### 3) 下流域(扇状地部)の環境

#### 扇状地を流れる下流域

下流域は、黒部川橋(7.0k)付近までの流れは単状となっているが、そこから河口までの流れは網状となり、平瀬や早瀬が連続した流れを形成している。

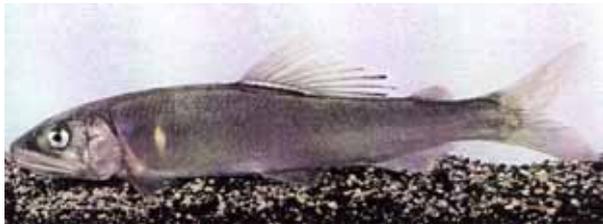
魚類は、アユ、ウグイ、ヤマメ、タカハヤ、カジカ等が生息している。植物はアキグミ、カワラハハコ、カワラサイコ等、砂礫河原を生育地とする植物が多く見られる。また、ハリエンジュやヘラオオバコ、オランダミミナグサなどの帰化植物も多く、網状河道部の中州は、渡り鳥の休息・越冬地として多種多様な鳥類が集まっている。

表 2-3 下流域(扇状地部)に見られる代表的な動植物

植 物	アキグミ、カワラハハコ カワラヨモギ、カワラサイコ ノブドウ、ツルウメモドキ ハリエンジュ、オランダミミナグサ
鳥 類	セグロセキレイ、ハクセキレイ オオヨシキリ、ツグミ、カッコウ ホトトギス
魚 類	アユ、ウグイ、タカハヤ、カジカ等



黒部川(1.7k付近)



アユ



アキグミ



カッコウ



カワラハハコ

#### 4) 下流域(河口部)の環境

##### 貴重な動植物が生息する下流域(河口部)

下流域(河口部)は、砂と礫がモザイク状に分布しており、<sup>みおすじ</sup>澇筋に分断された広く浅い潟や平坦な中州が形成されている。平瀬や早瀬が見られるとともに、砂洲の伸長による閉塞傾向にあるため緩流域が形成されている。このため、流れが多様化し、土砂の堆積環境が形成されている。

澇筋で分断された広い砂礫の中州は、コアジサシが集団で繁殖し、シギ・チドリ類等の渡り鳥の中継地、カモ類やカモメ類の越冬地となっている。

平瀬部には砂礫がモザイク状に堆積していることから、ミミズハゼやカマキリ等の浮き石河床を好む回遊性の底生魚が生息するとともに、サケ・マスが産卵のために遡上している。また、左岸の湧水が流れる湿地環境には、トミヨが生息している。

河口の両岸には、粗砂が堆積し波打ち際から砂丘へとつながるなだらかな海浜地形が形成され、コウボウムギ、ハマボウフウ、ハマウツボ等の海浜植生が生育している。

表 2-4 河口部に見られる代表的な動植物

植 物	ガマ、ヒメガマ、ツルヨシ、ウンラン ハマヒルガオ、ハマボウフウ ハマウツボ
鳥 類	コアジサシ、シギ・チドリ類、カモ類 カモメ、ウミネコ
魚 類	アユ、ウグイ、サケ、マハゼ、トミヨ



河口部 中州の形成



トミヨ



河口左岸の湿地帯



ハマウツボ



コアジサシ

## (2) 黒部川における特定種

河川水辺の国勢調査等の資料をもとに、レッドデータブック(環境省)への記載種を抽出するとともに、天然記念物指定種等、学術的もしくは希少価値の視点からも抽出した。

表 2-5 黒部川における特定種の選定基準一覧表

記号	法令・文献の名称	記号	カテゴリー区分
A	文化財保護法	特天	国指定特別天然記念物
		国天	国指定天然記念物
B	絶滅のおそれのある野生生物の種の保存に関する法律	保存	国内希少野生動植物
C	改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック -	危惧 B	絶滅危惧 B種(EN)
		危惧	絶滅危惧 種(VU)
		準危惧	準絶滅危惧種(NT)
		不足	情報不足種(DD)
D	レッドデータブックとやま - 富山県の絶滅の恐れのある野生生物 -	絶滅	絶滅危惧種
		危急	危急種
		希少	希少種
		不足	情報不足
E	富山県自然環境指針	富指	
F	第1回自然環境保全基礎調査(緑の国勢調査)	自然	「すぐれた自然」調査対象種
G	第2回自然環境保全基礎調査(緑の国勢調査)	重要	日本の重要な指定種

表 2-6 黒部川で確認された特定種一覧表

分類	種名	選定根拠							確認地点		
		A	B	C	D	E	F	G	河口部	扇状地部	山間部
魚類	ドジョウ				希少						
	エゾホトケドジョウ			危惧							
	ニッコウイワナ				地域						
	トミヨ				危急	富指					
	カマキリ				危急	富指					
	ピリング				不足						
	スナヤツメ			危惧	希少						
	マルタ				不足						
	カジカ				希少						
	カンキョウカジカ				希少						
	ゴクラクハゼ				不足						
	鳥類	カイツブリ					富指				
ヨシゴイ					危惧	富指					
クロサギ					希少	富指					
ササゴイ					希少						
トモエガモ				危惧	希少						
ミコアイサ					希少						
コハクチョウ					希少						
ヨシガモ					希少						
シリガモ					希少						
ウミアイサ					希少						
ミサゴ				準危惧	希少						
ハチクマ				準危惧	希少						
オオタカ			保存	危惧	危急	富指					
クマタカ			保存	危惧 B	危惧	富指					
イヌワシ		国天	保存	危惧 B	危惧	富指					
ハイタカ				準危惧	希少						
ハヤブサ			保存	危惧	危急						
オオバン					希少						
コチドリ					希少	富指					
シロチドリ					希少	富指					
イソシギ					希少						
オオジシギ				準危惧	不足						
アジサシ					不足						
コアジサシ				危惧	危急	富指					
ヤマセミ					危急	富指					
カワセミ					希少	富指					
サンショウクイ				危惧	希少						
オオヨシキリ						富指					
セッカ					希少						
コサメビタキ					希少						
ノジコ				準危惧	希少						

表 2-6 黒部川で確認された特定種一覧表 (2)

分類	種名	選定根拠							確認地点		
		A	B	C	D	E	F	G	河口部	扇状地部	山間部
低生動物	ヒラマキミズマイマイ				不足						
	ヒラマキガイモドキ				不足						
	ドブシジミ				希少						
	コムズムシ					富指					
	オオタニシ				希少						
	モノアラガイ			準危惧	危急						
植物	アカザ				危急						
	カワラサイコ				希少						
	タンキリマメ				不足						
	ハマウツボ				危惧						
両生類	ハコネサンショウウオ					富指					
	ナガレタゴガエル				危急						
	イモリ				希少						
哺乳類	ニホンカモシカ	特天									
陸上昆虫類等	アオイトトンボ					富指					
	オオアオイトトンボ					富指					
	オオカワトンボ				希少	富指					
	アオヤンマ				希少	富指					
	ルリボシヤンマ					富指					
	マダラヤンマ				危急			重要			
	ムカシトンボ					富指					
	ヨツボシトンボ					富指					
	チョウトンボ				希少	富指		重要			
	キトンボ				希少						
	ミヤマアカネ				希少						
	ネキトンボ					富指		重要			
	ヒメアカネ							重要			
	セグロバツタ				希少	富指					
	ヨコツナツチカメムシ				希少						
	オオアメンボ				希少						
	コムズムシ					富指					
	オオコオイムシ				希少						
	マツモムシ					富指					
	ミヤマシジミ			危惧	危急	富指		重要			
	ヒサマツミドリシジミ					富指	自然	重要			
	オオムラサキ			準危惧	希少	富指	自然	重要			
	ギフチョウ			危惧	希少	富指	自然	重要			
	コジャノメ							重要			
	キベリマメゲンゴロウ				希少						
	モンキマメゲンゴロウ					富指					
	ヒラタクワガタ				危急						
	ホッカイジョウカイ							重要			
	ゲンジボタル				希少	富指		重要			

## 2.3 特徴的な河川景観や文化財等

### 2.3.1 特徴的な河川景観

#### (1) 特徴的な河川景観

黒部川の代表的な河川景観として、上流域においては十字峡・S字峡・猿飛峡等に代表されるV字峡谷が挙げられ、下流域では見事な扇状地形と、その中心を流れる黒部川の美しい河川景観が挙げられる。



上流域（猿飛峡）



上流域（S字峡）



下流域（扇状地）



中流域（山地帯）

【出典：黒部河川事務所】

## 2.3.2 文化

### (1) 名勝及び天然記念物

黒部川流域及び関係する市町村には、国の特別天然記念物4件、国の指定天然記念物3件、国の指定登録文化財1件、県の指定天然記念物7件がある。

表 2-7 国・県指定 名勝及び天然記念物一覧表

番号	指定別	種 別	名 称	所 在 地	指定年月日
1	国指定	特別名勝・特別天然記念物	黒部峡谷猿飛附ならびに奥鐘山	黒部市 (旧宇奈月町)	S31.9.7
2	国指定	特別天然記念物	白馬連山高山植物帯	黒部市 (旧宇奈月町)	S27.3.29
3	国指定	特別天然記念物	ライチョウ	-	S30.2.15
4	国指定	特別天然記念物	カモシカ	-	S30.2.15
5	国指定	天然記念物	イヌワシ	-	S40.5.12
6	国指定	天然記念物	杉沢の沢スギ	入善町吉原	S48.8.4
7	国指定	天然記念物	宮崎鹿島樹叢	朝日町宮崎	S11.12.16
8	国指定	登録文化財	下山芸術の森アートスペース	入善町下山	H8.12.20
9	県指定	天然記念物	下山八幡社の大藤と境内林	入善町下山	S40.1.1
10	県指定	天然記念物	小摺戸の大藤	入善町小摺戸	S40.1.1
11	県指定	天然記念物	宇奈月の十字石	黒部市 (旧宇奈月町)	S40.1.1
12	県指定	天然記念物	内山のとちの森	黒部市 (旧宇奈月町字大尾)	S40.1.1
13	県指定	天然記念物	明日の大桜	黒部市 (旧宇奈月町明日)	S40.1.1
14	県指定	天然記念物	愛本のウラジロカシ林	黒部市 (旧宇奈月町愛本)	S42.9.26
15	県指定	天然記念物	寺谷アンモナイト包蔵地	朝日町大平	S53.1.24

【出典：富山県庁HP】



杉沢の沢スギ

黒部川扇状地の末端部で、小川が流れ地下水の湧出する地域に、スギの多い林。全国でも珍しい平地での伏条更新を見ることができる。



白馬連山高山植物

白馬岳を中心に3,000m級の高山が連なり、富山、新潟、長野県にまたがるその広大な地域には、多種多様な高山植物が分布している。

【出典：黒部河川事務所】

## (2) 文化財等

黒部川流域及び関係する市町村には、国の指定無形民俗文化財 1 件、国の指定史跡 2 件、県の指定無形民俗文化財 1 件、県の指定史跡 9 件、県の指定彫刻 2 件がある。

表 2-8 国・県指定 文化財一覧表

番号	指定別	種別	名称	所在地	指定年月日
1	国指定	無形民俗文化財	越中の稚児舞	黒部市 (旧宇奈月町明日)	S57.1.14
2	国指定	史跡	じょうべのま遺跡	入善町田中	S54.5.14
3	国指定	史跡	不動堂遺跡	朝日町不動堂	S49.12.13
4	県指定	無形民俗文化財	中陣地区のニブ流し	黒部市中陣	H6.2.24
5	県指定	史跡	生地の台場	黒部市生地	S40.10.1
6	県指定	史跡	嘉例沢の石仏	黒部市嘉例沢	S40.2.1
7	県指定	史跡	嘉暦四歳銘五輪石塔	黒部市枳沢	S40.2.1
8	県指定	史跡	北野の石龕	黒部市北野	S40.2.1
9	県指定	史跡	愛本新遺跡	黒部市 (旧宇奈月町愛本)	S45.12.19
10	県指定	史跡	境一里塚	朝日町境	S40.1.1
11	県指定	史跡	宮崎城跡	朝日町元屋敷	S40.1.1
12	県指定	史跡	境関跡	朝日町境	S40.10.1
13	県指定	史跡	浜山玉づくり遺跡	朝日町宮崎	S47.10.5
14	県指定	彫刻	聖観世音菩薩 木造 千手観世音菩薩 馬頭観世音菩薩	入善町舟見	S40.1.1
15	県指定	彫刻	毘沙門天立像	朝日町南保	S60.9.12

【出典：黒部河川事務所】



じょうべのま遺跡

平安時代の荘所跡で建物跡が確認できた全国初の例である。



生地の台場

江戸時代後期の黒船来航に対し、幕府の沿岸警備を厳重にするために生地を含め県内の 3 箇所に台場が設置された。  
古代における荘所の中で、建物跡が確認できた全国初の例である。

【出典：黒部河川事務所】

## 2.4 黒部川にまつわる歴史・文化施設等

### (1) 治水施設

#### <霞堤>

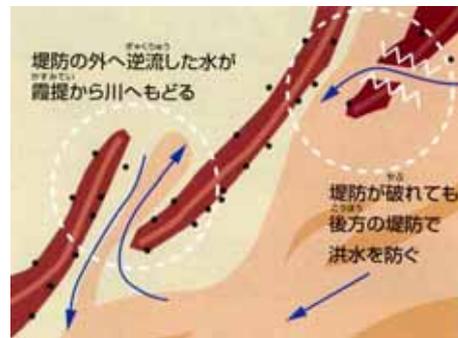
黒部川は、旧河道や氾濫口の締切りから堤防工事が始まり、当時は集落（村）毎に工事が行われていたため、一貫性のない堤防になっていたと考えられる。

霞堤は、小さな堤防を重ねた不連続堤が続いているのが特徴であり、破堤しても背後の霞堤で氾濫を防ぐとともに、上流で破堤した際も、氾濫流を霞堤のあいだから河道へ戻す仕組みになっている。さらに、洪水が堤防の切れ目から逆流することになるが、堤防の間に一時的に水を貯め、徐々に本川へ戻し、大きな氾濫を防ぐ遊水地の機能も兼ね備えている。

現在、黒部川には、霞堤が14箇所残っており、このうち右岸側の霞堤はオランダ人技師ヨハネス・デ・レーケによって設計されたものである。



霞堤



#### 【霞堤の効果】

昭和44年8月洪水時において、愛本地点で氾濫した氾濫流は、下流の霞堤から河道に戻っている

【出典：黒部河川事務所】

### <旧堤防跡>

黒部市村<sup>むらつばき</sup> 樁<sup>こすりど</sup> や入善町小摺戸<sup>かすみてい</sup>には、霞堤の痕跡が残っている。また、堤防跡の中には水防資材とする目的で植えられていた松並木などの面影が見られる。小摺戸<sup>こすりど</sup>の堤防跡は、現在の堤防から約 300m も堤内地側にあり、昔の黒部川があばれ川で、澇筋を変えながら流れていたことをうかがわせる。



旧堤防跡（黒部市村樁）



旧堤防跡（入善町小摺戸）

【出典：黒部河川事務所】

### <巨大水制群>

水制は流水から河岸や堤防を守るために、流水の向きを変えたり、勢いを軽減させるために設置している。国内屈指の急流河川である黒部川においては、通常のものと比較した場合、かなり巨大な水制を整備している。



ピストル水制

【出典：黒部河川事務所】

### <愛本床止>

扇頂部にあたる愛本は、黒部川の要衝であるため、洪水で河床が削られるのを防ぎ、川の勾配を一定に保つ「床止工」を整備した。

黒部河川事務所では、昭和 44 年 8 月洪水で被害を受けた旧愛本堰堤の基礎部を富山県より引き継ぎ補強・改築を行った。



愛本床止

【出典：黒部河川事務所】

## (2) 利水施設

### < 愛本堰堤 >

以前の黒部川では、<sup>どうりゅうてい</sup>導流堤を造り、堤防に設けた水門から取水していたが、渇水時、下流の取水口では取水量が不足し、逆に出水時には、導流堤が破壊され取水が困難となった。大正14年に黒部川電力株式会社が発電に必要な水を確保するために、愛本狭窄部に堰堤を建設し一括で取水する計画が立てられ、富山県は愛本堰堤を事業化し、昭和7年に竣工した。これにより当時12箇所あった取水口が愛本堰堤に集約（<sup>ごうくちか</sup>合口化）され、水不足への不安や洪水被害などの問題点が解消され、安定的な水を黒西、黒東の各用水へ流すことが可能となった。その後、昭和44年8月の洪水により当時の愛本堰堤が被災し、約150m上流に現在の愛本堰堤が建設された。



旧・愛本堰堤

【出典：愛本堰堤史】



現・愛本堰堤

【出典：黒部河川事務所】

### < <sup>じゅうにかんのようすい</sup>十二貫野用水 >

十二貫野用水は、天保の飢饉を契機に、黒部峡谷の断崖の端で<sup>きゅうりょうちたい</sup>丘陵地帯に位置する十二貫野地区へ用水を供給するため、天保12年(1841)に完成した延長約23km、分水路を含めると総延長約30.2kmに及ぶ用水路である。

急峻な地形のため、谷を越えて水を供給させることが必要となり、当時としては画期的な「サイフォン方式」を採用した。石材に穴を空けて管とし、松ヤニや檜皮を練り合わせ、石と石をつなぎ合わせる手法をとり水漏れを防いだ。

この十二貫野用水は、平成18年2月に、農林水産省の「<sup>そすい</sup>疎水百選」に選ばれた。



十二貫野用水

【出典：黒部河川事務所】

### < 黒部川の発電所群 >

黒部川は、一年を通して豊富な水量が安定して確保でき、かつ、急流河川であることから水力発電には好適地であり古くから注目されていた。

愛本より上流の発電所は、大正 12 年に建設された弥太蔵<sup>やたぞう</sup>発電所が皮切りとされており、その後は、昭和 2 年の柳河原発電所、昭和 11 年の愛本発電所、黒部川第二発電所などが相次いで運転を開始した。昭和 36 年には黒部ダムにある黒部第四発電所、通称「黒四」が建設・運転が開始されるなど、現在まで合計 12 基の発電所が稼働している。

愛本より下流においても大正 15 年の黒部川第一、第二発電所（現在は黒東第二、黒東第三発電所）が建設されて以降、合計 6 基の発電所が建設され、扇状地の河岸段丘等を利用した低落差発電が行われている。

全体で、黒部川の水を利用した発電所は 18 基建設されており、その最大出力は 1 時間あたり約 97 万 kW に達している。



愛本発電所



黒東第三発電所の低落差発電

【出典：黒部河川事務所】

### (3) 橋 梁

#### < 愛本橋 >

愛本橋は、黒部川に初めて架けられた橋で、つくられたのは、1667 年頃と云われている。当時は「刎橋<sup>はねばし</sup>」で、その構造の奇抜さから、日本三奇橋の一つに数えられた。川の水量が増し、川を渡れなくなる夏の時期に多く利用されたことから、「夏街道」とも呼ばれていた。



愛本刎橋（明治 23 年頃の愛本橋）



現在の愛本橋（鋼二ルセン型橋）

【出典：河川の歴史読本 黒部川】

## (4) 水神碑

### <水神碑(水神社)>

黒部川は、流域に豊かな恵みをもたらす一方で、「暴れ川」として幾多の洪水被害を与えてきた。流域に暮らす人々は、黒部川の神に対して、怒り、暴れないよう水神を祀り祈念した。

現在でも、扇状地の黒部川沿いには、多くの水神碑や水神社が残されている。

表 2-9 主な水神碑一覧

碑・神社名	左右岸別	所在地
出島の水神碑	左岸	黒部市
沓掛の水神碑		
沓掛の八幡社		
長正寺の水神碑		
若栗の水神碑		
生地の水神社	右岸	入善町
曇ノ木水神社		
福島神社		
西中の神明社		
新屋の神明社		
黒部川神社(本殿)		宇奈月町



沓掛の水神碑



黒部川神社

図 2-2 主な水神碑位置図

【出典：黒部河川事務所】

## (5) 渡船場跡

昭和 60 年に、黒部市出島(左岸 3.0k 付近)の黒部川の河原から、渡船場跡が発見された。このことは、過去に黒部川に渡し船があったことを示す証拠である。しかしながら、運行されていた時期等、詳細は不明である。



渡船場跡

【出典：黒部河川事務所】

## 2.5 イベント・観光

### (1) イベント

五穀豊穡や無病息災などを祈願する伝統的な祭事が、流域各地の神社等で行われている。このほか、「水のコンサート」や「くるべ水の少年団」のように、黒部川の水文化を後世に伝えていくさまざまな取り組みが行われている。

#### <黒部川にまつわる行事(祭り)>

##### 墓ノ木たいまつ祭り

黒部川の大洪水の際に村人が沢山の「たいまつ」を灯して、夜通し堤防を守ったことがはじまりとされ、水害に対する水神様への感謝と五穀豊穡・無病息災を祈願している。



墓ノ木たいまつ祭り

【出典：入善町】

##### 愛本姫社祭り

黒部川にまつわる言い伝えの一つに「お光と大蛇」の伝説があり、これに縁のある愛本姫社でお光と大蛇の婚礼を模した行列が行われる。

また、愛本姫社のご神体は、江戸代の浮世絵氏、池田栄泉が描いた「花魁」の版画で、この版画をゴッホが模写したことで有名になった。祭りの日には、ご神体の「花魁」を見ることができる。



愛本姫社祭り

【出典：黒部川歴史読本】

表 2-10 黒部川流域市町村の主な年中行事

市町村	年中行事 [ ( ) 内の数字は開催月 ]
黒部市	観光地曳網体験(5~8) / 黒部名水ロードレース大会(5) / 黒部川水のコンサート&フェスティバル(7) / 石田浜マリンフェスタ(8) / くるべ生地浜海上花火大会(8) / えびす祭り(8) / たいまつ祭り(10) / 名水の里黒部 生地まち歩ツアー(通年)
黒部市 (旧宇奈月町)	宇奈月温泉冬物語・雪上火火大会(2) / 宇奈月温泉雪のカーニバル(2) / 宇奈月平和の像観音祭(5) / 愛本姫社祭り(6) / 峡谷花火饗宴(8) / 愛本新用水天満宮たいまつ祭り(10)
入善町	山神様まつり(2) / 舟見七夕祭り(7) / 海洋深層水ふれあいデー(7) / 新屋大磐祭り(7) / 入善ふるさと七夕祭り(8) / 墓ノ木たいまつ祭り(10) / 扇状地マラソン(11) /
朝日町	鹿嶋神社稚児舞(5) / ヒスイ海岸「海の日フェスティバル」(7) / 全国ビーチボール大会(11)

【出典：富山県 HP】

## (2) 観光

黒部川の観光を代表するものに、年間 100 万人以上の観光客が訪れる国際観光地、「立山黒部アルペンルート」がある。ケーブルカーやロープウェイ、トロリーバス等の多彩な乗り物を使いながら北アルプスを縦貫するコースとなっている。例年 4 月下旬に一般開放され、その時期には雪壁が 15m 以上にもなる「雪の大谷」を見学することができる。富山の春の風物詩にもなっている。

また、黒部峡谷の玄関口にあたる「宇奈月温泉」にも、年間約 50 万人の観光客が訪れ、「トロッコ電車」に乗り、黒部峡谷の豊かな自然を堪能するコースも人気となっている。



宇奈月温泉



黒部ダム (立山黒部アルペンルート)

【出典：黒部河川事務所】

表 2-11 黒部川流域市町村の観光名所および観光施設

市町村	観光施設
黒部市	生地の清水(共同洗い場) / 生地台場 / 石田海水浴場 / 大島海岸キャンプ場 / 嘉例沢森林公園キャンプ場 / 吉田科学館 / 黒部市国際文化センター / 宮野運動公園 / 黒部市美術館 / 魚の駅
黒部市 (旧宇奈月町)	宇奈月湖畔公園 / うなづき友学館 / 宇奈月麦酒館 / 黒部峡谷鉄道(黒部峡谷) / 黒部川電気記念館 / 宇奈月温泉 / セレネ美術館 / 新川育成牧場 / 平和の像 / 足湯「おもかげ」 / 宇奈月温泉スキー場 / 明日キャンプ場
入善町	じょうべのま遺跡 / 杉沢の沢スギ / 園家山キャンプ場 / 下山芸術の森・発電所美術館 / 墓ノ木自然公園キャンプ場 / 舟見城址館
朝日町	朝日町立ふるさと美術館 / 朝日町歴史公園 / 百河豚美術館 / なないろKAN / 棚山ファミリーランド / ヒスイ海岸オートキャンプ場 / 宮崎自然博物館
立山町	立山黒部アルペンルート

【出典：富山県 HP】

表 2-12 黒部川流域市町村の温泉

市町村	温泉施設
黒部市 (旧宇奈月町)	宇奈月温泉 / 黒雑温泉 / 祖母谷温泉 / 名剣温泉 / 檜平温泉 / 鐘釣温泉
朝日町	小川温泉

【出典：富山県 HP】

## 2.6 自然公園等の指定状況

黒部川流域には、北アルプスを中心とした中部山岳国立公園（昭和9年指定）と、県東部の宮崎海岸から城山、黒部川の支川・北又谷にいたるまでの海岸や丘陵、山岳、渓谷等、多くの要素を含んだ朝日県立自然公園（昭和48年指定）の2ヶ所の自然公園がある。

自然保護に関する指定は下表のとおり。

表 2-13 黒部川流域自然公園指定状況

種別	公園名	関係市町村	指定年月日及び内容
国立公園	中部山岳国立公園 76,431ha(全域)	黒部市(旧宇奈月町)	S9.12.4 区域指定
		富山市(旧大山町)	S13.12.17 特別地域指定
		立山町	S40.12.22 特別地域一部変更
		朝日町	S44.1.10 特別地域追加指定
県立公園	朝日県立自然公園 9,623ha(全域)	黒部市(旧宇奈月町) 朝日町	S48.3.13

【出典：富山県 HP】

表 2-14 黒部川流域鳥獣保護区特別保護地区状況

名 称	所在地 関係市町村	面 積(ha)
立山特別保護地区	黒部市(旧宇奈月町) 富山市(旧大山町) 立山町	12,485(全域)
北アルプス特別保護地区	富山市(旧大山町)	1,244(流域内)

表 2-15 黒部川流域鳥獣保護区状況

名 称	所在地 関係市町村	面 積(ha)
北アルプス鳥獣保護区	富山市(旧大山町) 黒部市(旧宇奈月町) 立山町 朝日町	64,819(全域)
黒部川河口鳥獣保護区	黒部市 入善町	68



## 2.7 黒部川扇状地の湧水群

黒部川扇状地には、いたる所で湧き水が自噴している。特に黒部市生地には18箇所の湧き水があり、うち10箇所は共同洗い場として、古くから地域住民に利用されている。これらの清水しよずを含む黒部川扇状地湧水群は「全国名水百選」にも選定され、清水の並ぶ通りは「名水街道」と呼ばれ街歩きを楽しむ観光客が訪れている。



- |           |         |
|-----------|---------|
| みどり町の清水   | 絹の清水    |
| 前名寺の清水    | 岩瀬家の清水  |
| 田村邸の清水    | 弘法の清水   |
| 中島の清水     | 第一温泉の清水 |
| 神明町の共同洗い場 | 清水庵の清水  |
| 神田の清水     | 源兵サの清水  |
| 弘法の清水     | 月見嶋の清水  |
| 〃         | 生地温泉の清水 |
| 殿様清水      | 名水公園の清水 |



生地まち歩きマップ宇奈月温泉